

幅広い分野で積極的な診療を。
基本的な医療から、先進医療まで



2023年度 名古屋大学病態内科学講座 入局説明会

教授 室原 豊明

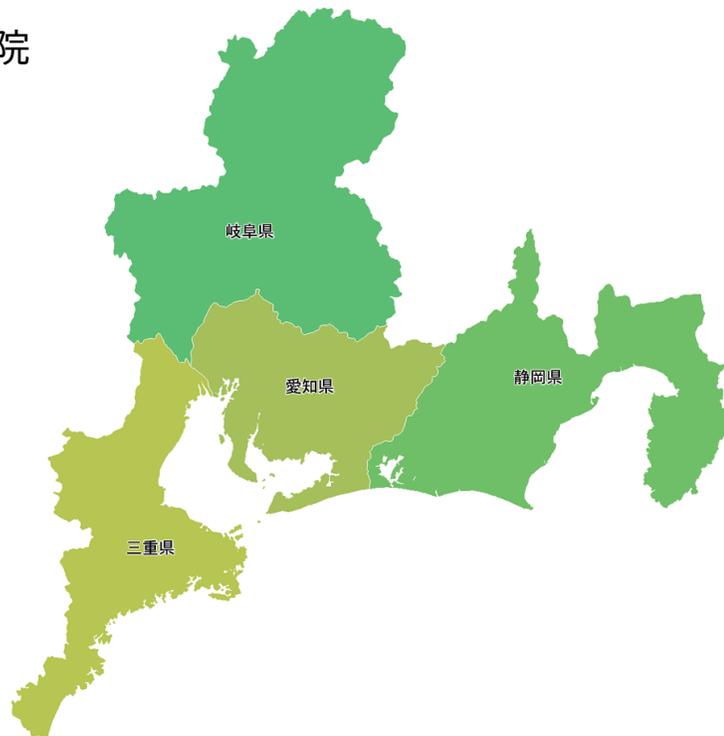
医局長 奥村 貴裕

関連病院

愛知県

渥美病院
愛知県がんセンター
安城更生病院
一宮市立市民病院
稲沢市民病院
岡崎市民病院
海南病院
春日井市民病院
刈谷豊田総合病院
江南厚生病院
公立陶生病院
国立長寿医療センター
小牧市民病院
大同病院
中京病院
中日病院
中部ろうさい病院
津島市民病院
東海病院
常滑市民病院
トヨタ記念病院
豊田厚生病院
豊橋市民病院

名古屋医療センター
名古屋掖済会病院
名古屋共立病院
名古屋セントラル病院
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
西尾市民病院
西知多総合病院
半田市立半田病院
名城病院
名鉄病院
八千代病院



岐阜県

大垣市民病院
可児とうのう病院
久美愛厚生病院
県立多治見病院
東海中央病院
東濃厚生病院
土岐市立総合病院
中津川市民病院

三重県

市立四日市病院

静岡県

中東遠総合医療センター
静岡済生会病院

46病院 60施設

大学医局スタッフ

職名	氏名
教授	室原豊明
教授(保)	永田浩三
准教授	因田恭也
教授(寄附)	大内乗有
特任准教授(寄附)	辻 幸臣
教授(寄附)	柴田 玲
特任准教授(寄附)	大橋浩二
講師	竹藤幹人
病院講師(重症心不全)	奥村貴裕
助教	清水優樹
助教	森本竜太
助教	田中哲人
病院助教	加藤勝洋
特任講師(寄附)	柳澤 哲
助教(検査)	古澤健司
病院助教	足立史郎
病院助教	由良義充
特任助教(公衆衛生)	中野嘉久
病院助教(救急)	平岩宏章
助教(寄附)	下條将史
病院助教(ICU)	風間信吾

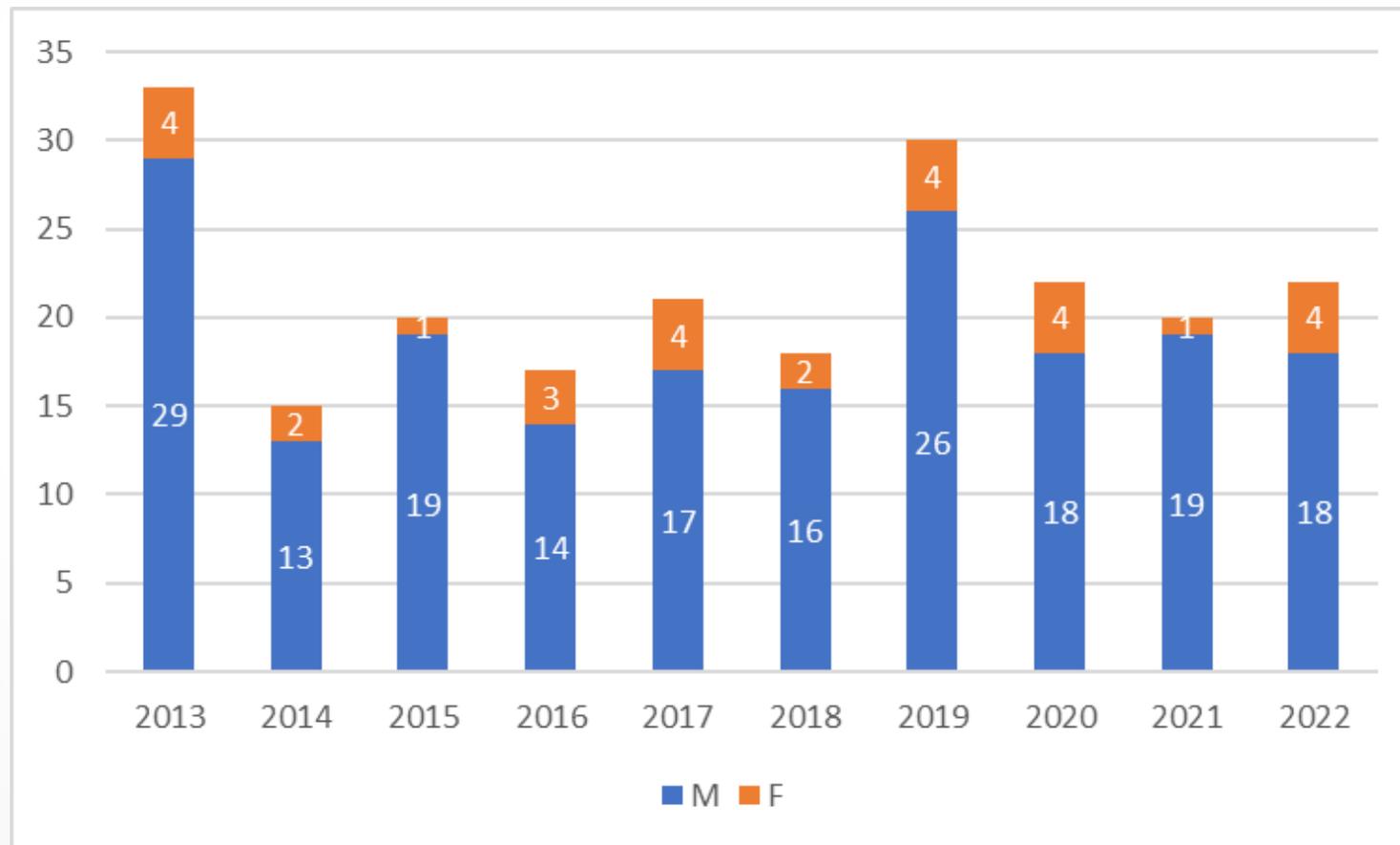
職名	氏名
医員	山内良太
医員	平松慧
医員	徳田晃太郎
医員	黒部将成
医員	安達健
医員	泉本真孝
医員	池田知世
医員	近藤喜代太
医員	近藤俊
医員	後藤孝幸

- 大学院生:
 - 院4(2名) 院3(5名) 院2(4名) 院1(7名)
- 研究生 3名
- 留学生(中国) 4名
- 海外留学中 8名 +3名
 - Glasgow大学(UK)
 - Washington大学(USA)
 - Cedars-Sinai Medical Center (USA)
 - Harvard大学(USA)
 - Hawaii大学(USA) :JSPS海外特別研究員
 - Max Plank (Germany):JSPS海外特別研究員
 - Stanford大学(USA)
 - Galway大学(IE)

名古屋大学循環器内科 同門会

2023年 同門会員総数: 881名 大学・連携病院所属: 470名

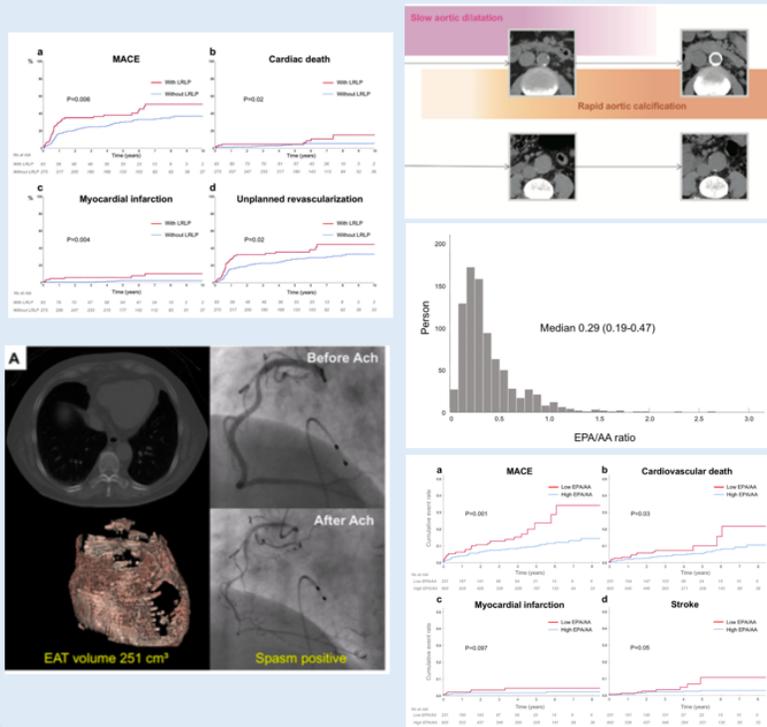
新入局者数の推移



虚血・SHDインターベンション

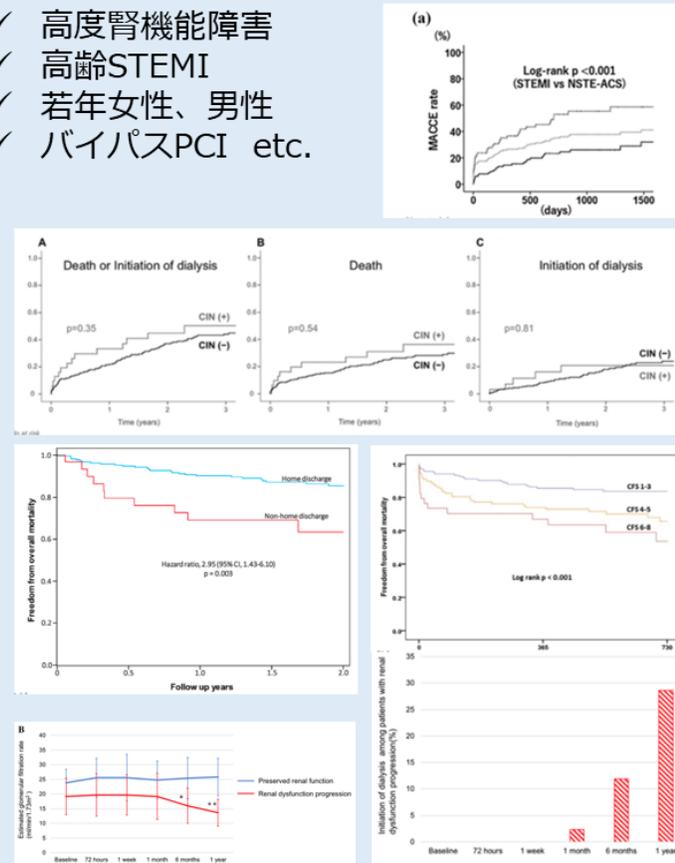
冠動脈疾患関連

- ✓ 冠動脈疾患において、冠動脈プラーク、各種バイオマーカー、骨格筋、心臓周囲脂肪などに注目、長期予後など合わせた研究、また糖尿病と大動脈硬化進展のメカニズムなど種々の研究を行なっています。



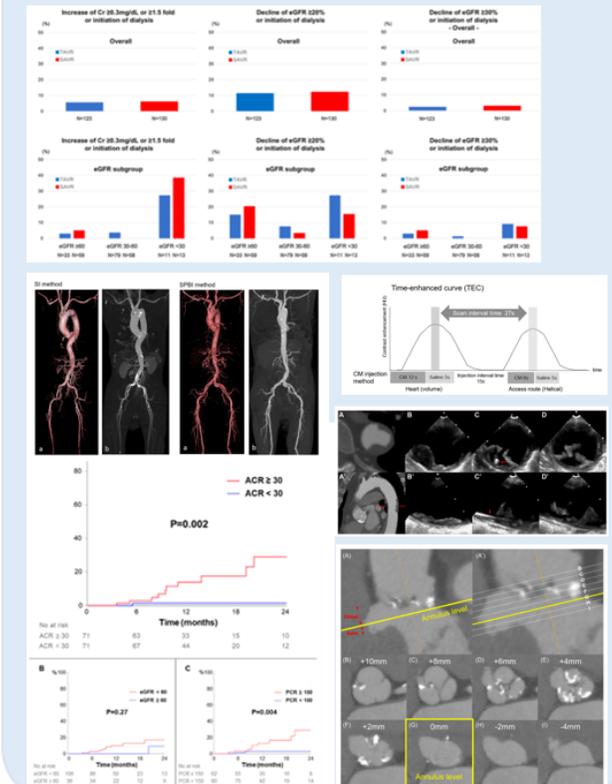
多施設研究

- ✓ 冠動脈疾患を中心に、複数のトピックで多施設レジストリを構築、発信しています
- ✓ 高度腎機能障害
- ✓ 高齢STEMI
- ✓ 若年女性、男性
- ✓ バイパスPCI etc.



SHD関連

- ✓ TAVI、ASDなどを中心にSHD関連の研究も進めています



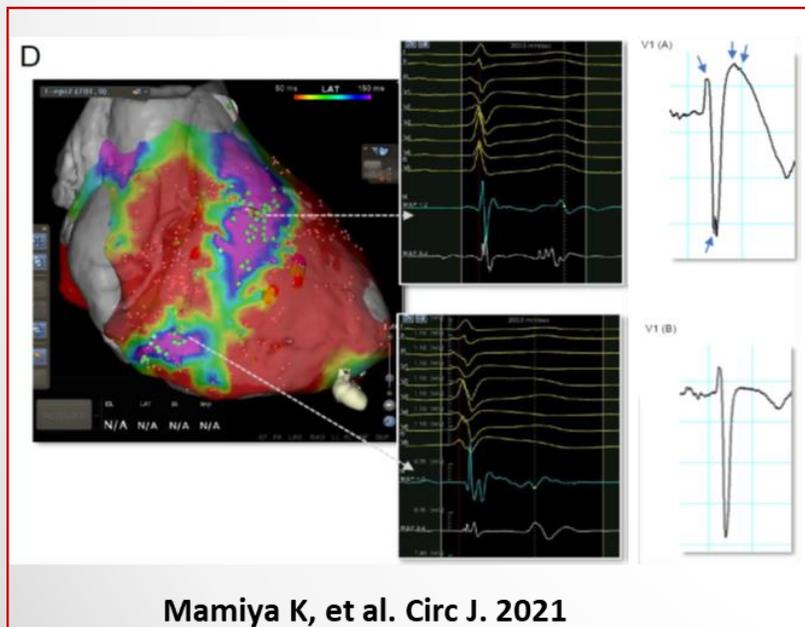
不整脈

薬物治療、ablation、デバイス治療など最先端の不整脈診療・研究

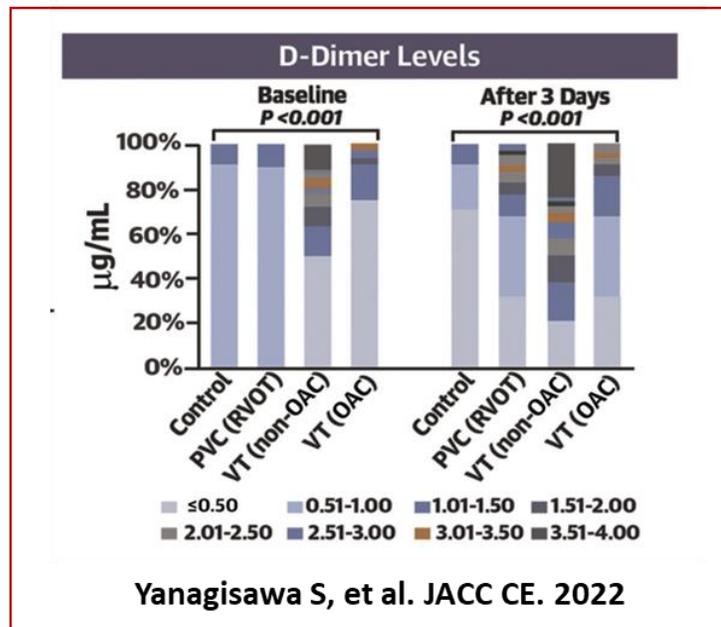
心房細動ablation時の抗凝固療法、心房細動維持の電気生理学的メカニズム、心房細動抗頻拍ペーシングの有用性、ヒス束ペーシング、中隔基部ペーシングの有用性、ブルガダ症候群のメカニズム、心室頻拍の電気生理学的不整脈基質、CRT治療効果、などの研究テーマ。

徐脈、期外収縮から心室細動まですべての不整脈を引き受ける

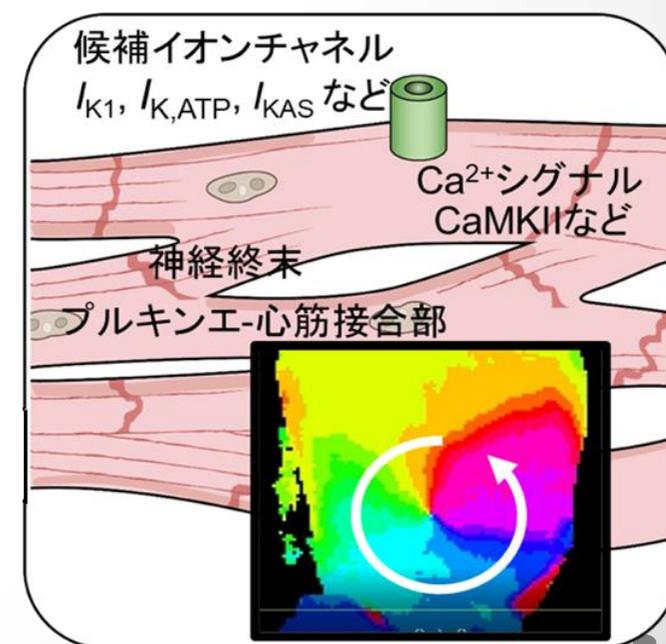
ブルガダ症候群ablationによる
不整脈基質と体表面心電図の変化



心室頻拍ablation後の凝固反応



心室細動の成立機序解明

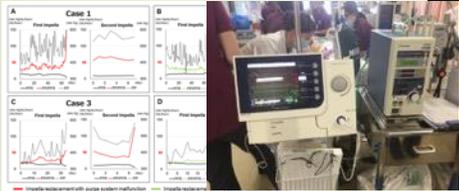


心不全・心筋症

日本トップレベルの重症心不全管理

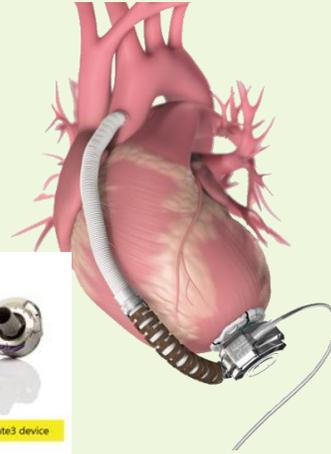
Impella 経皮的補助人工心臓

心原性ショックの治療
とエビデンス創出



植込型補助人工心臓

中部地区最多症例数の
補助人工心臓装着施設



心臓移植

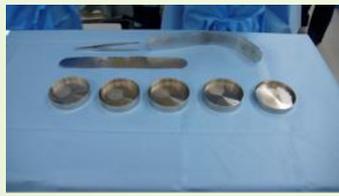
11例実施

わが国10番目、
中部地区唯一の
移植施設



ハートシート治療

骨格筋芽細胞
シート移植



心臓サポートネット治療

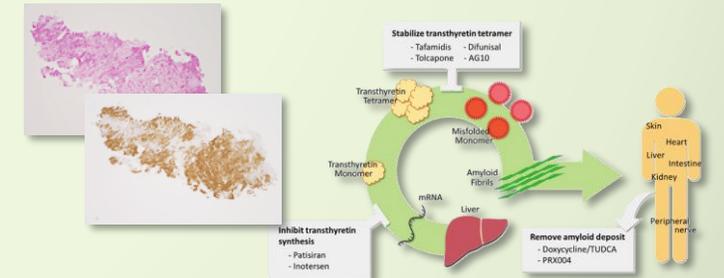
テイラーメイド式
右室穴あき型
心臓サポートネットの
作成・装着



多施設共同治験へ展開

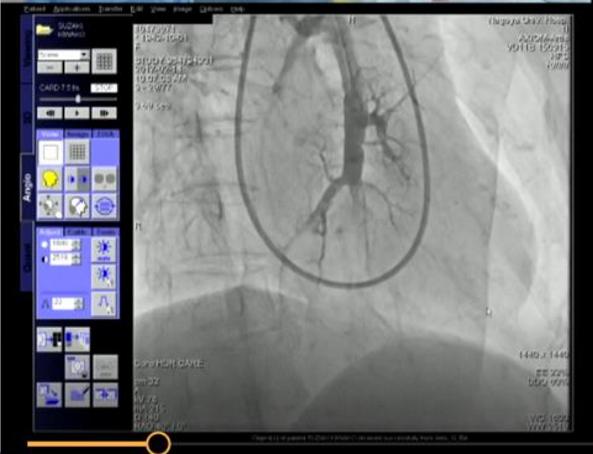
心筋疾患/心不全の精査・管理

ビンダケル導入処方認定施設



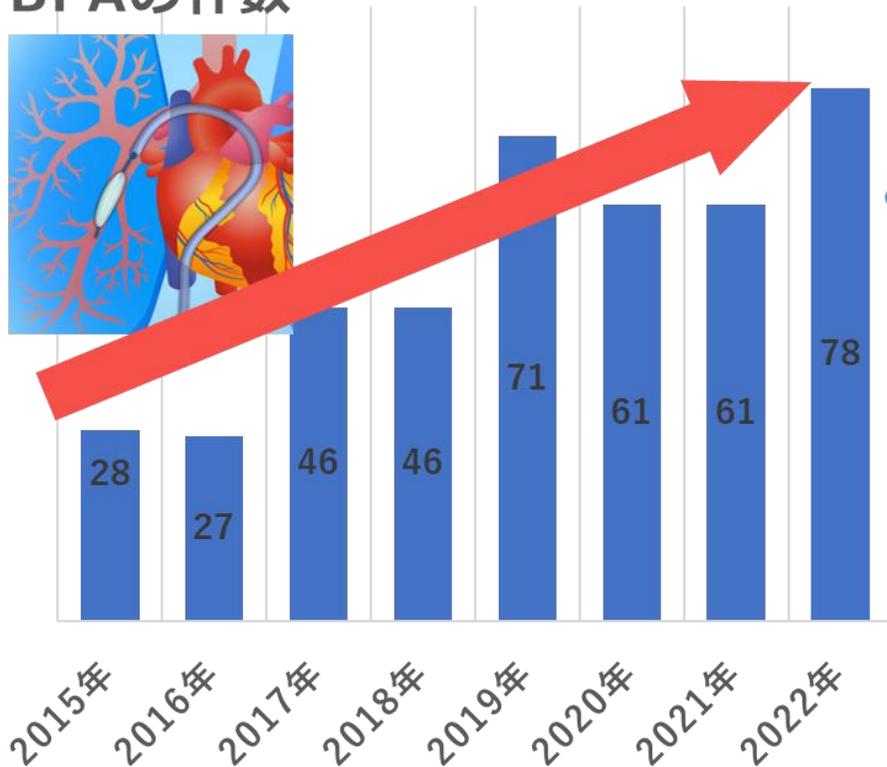
肺高血圧

CTEPHに対するBPA



日本循環器学会認定**BPA実施医**を取得
日本でも有数の**BPAセンター**
「**BAP指導施設**」申請中 **New**

BPAの件数



New

NO負荷試験

運動負荷カテーテル試験

遺伝学的検査

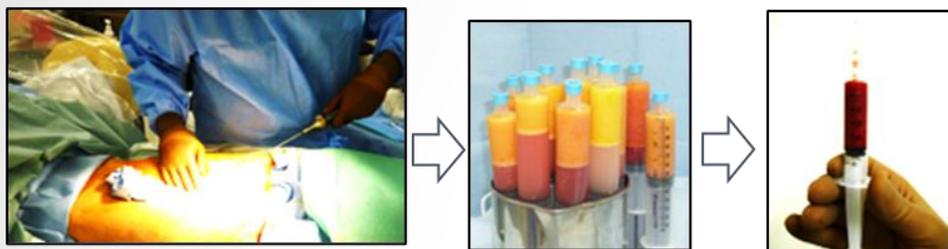
全国の診療ネットワーク

脳死肺移植適応検討
(肺移植実施施設として承認)



血管再生治療

(重症虚血肢を救う我々の挑戦：新規治療法の開発)



バージャー病による難治性足趾壊疽・潰瘍
治療前 6カ月後

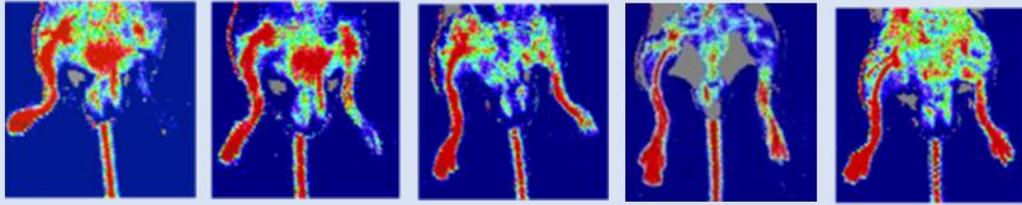


- 脂肪組織由来間葉系前駆細胞移植

臨床応用を見据えた血管・リンパ管新生療法研究/ミトコンドリア移植療法 基礎

血管・リンパ管新生の基礎/橋渡し研究

下肢虚血



POD0 POD7 POD14 POD21 POD28

リンパ浮腫

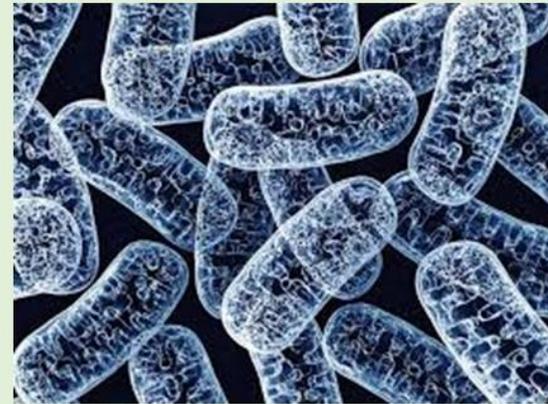


Sham POD1 POD21

研究標的:

脂肪組織由来間葉系前駆細胞 (ADRC)
概日リズム、硫化水素、miRNA、VEGF-A165b など

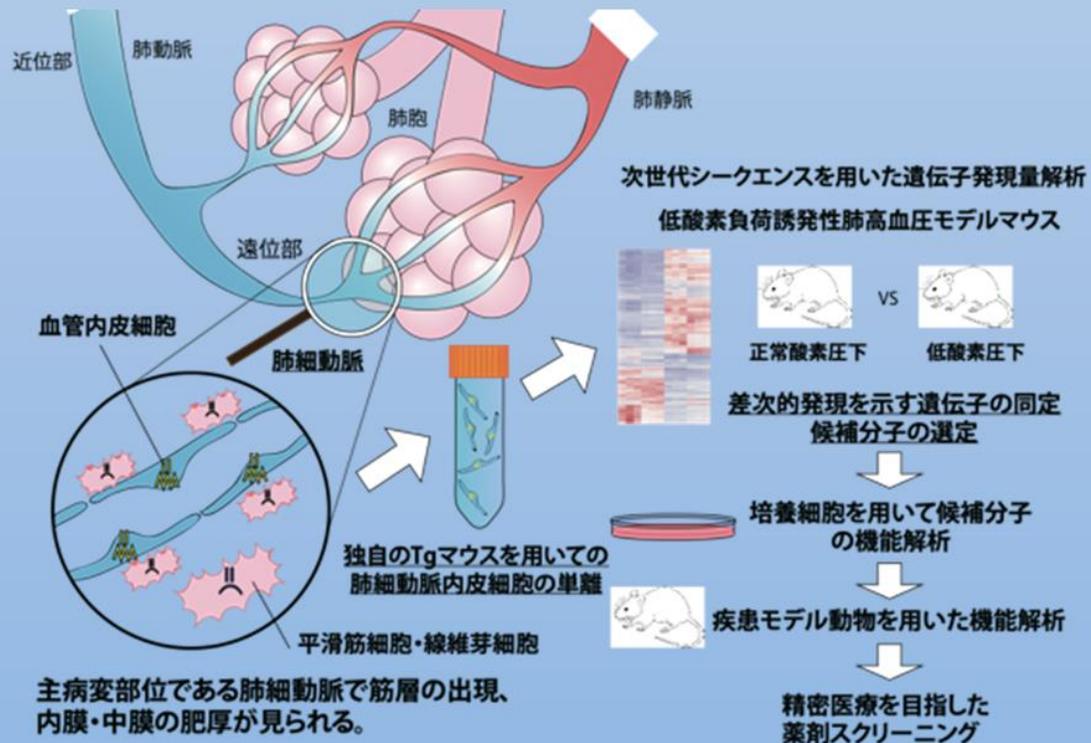
ミトコンドリア補充による 心臓病治療の開発 (産学連携研究)



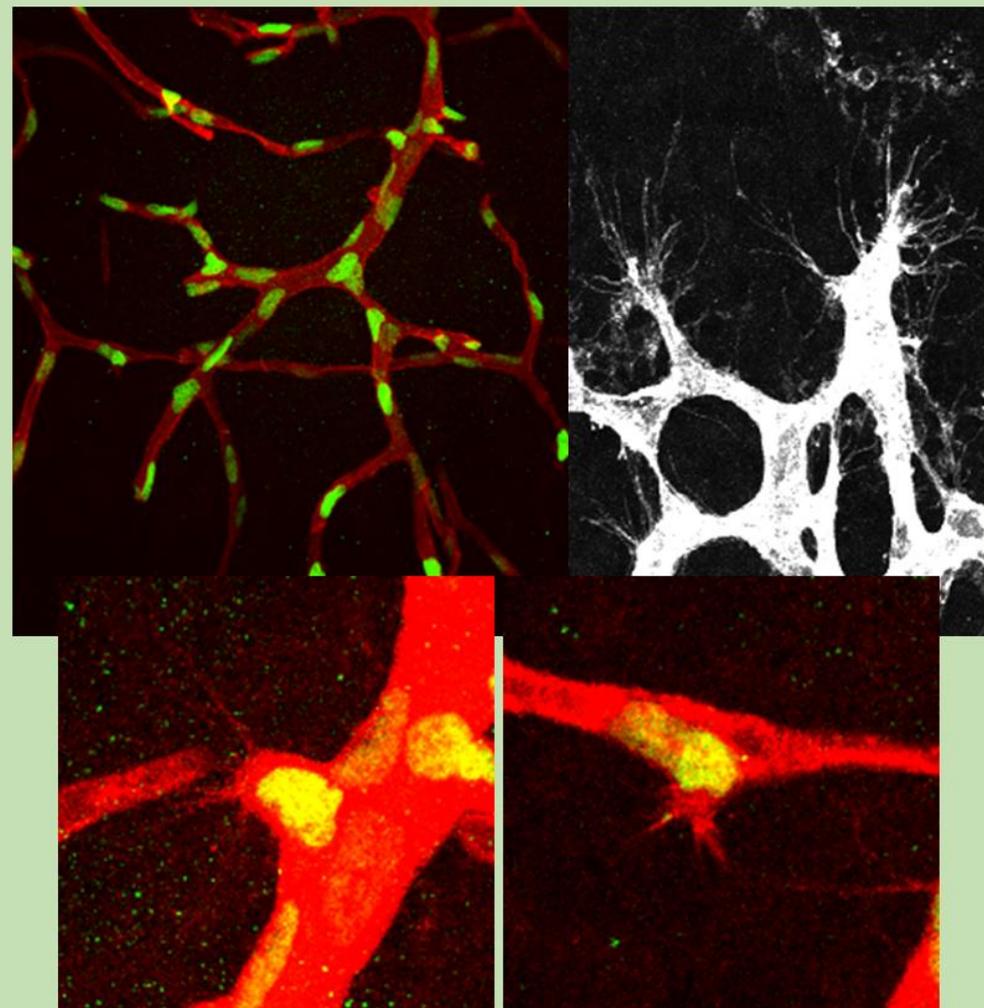
革新的技術開発:
ミトコンドリア移植

治療標的:
虚血性心疾患

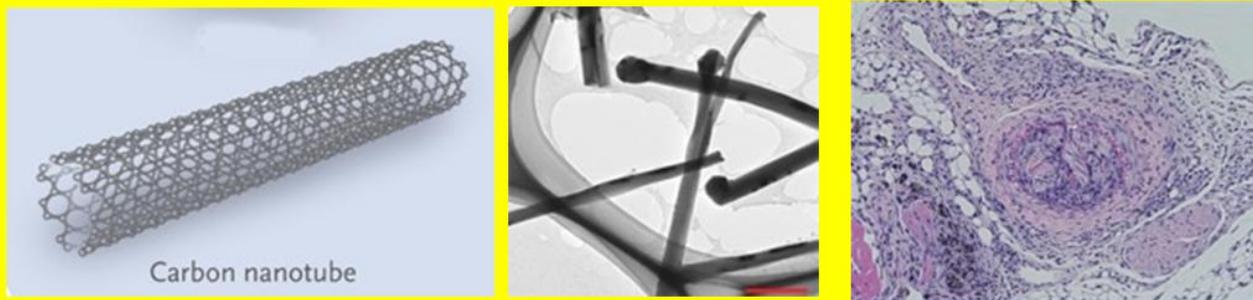
肺高血圧症へ対する新規精密医療の開発



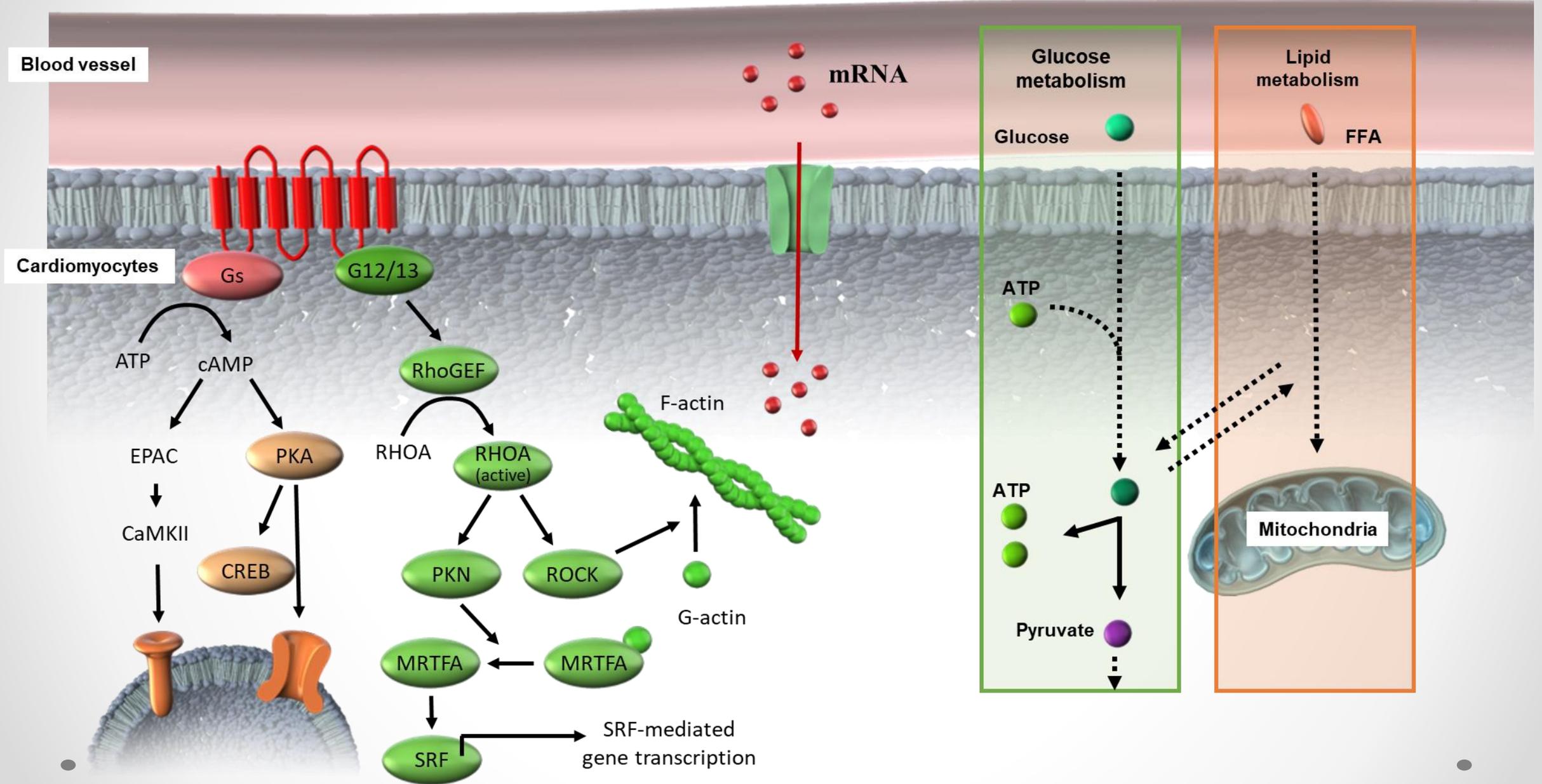
生体内での血管新生を可視化を介した新規血管新生療法の開発



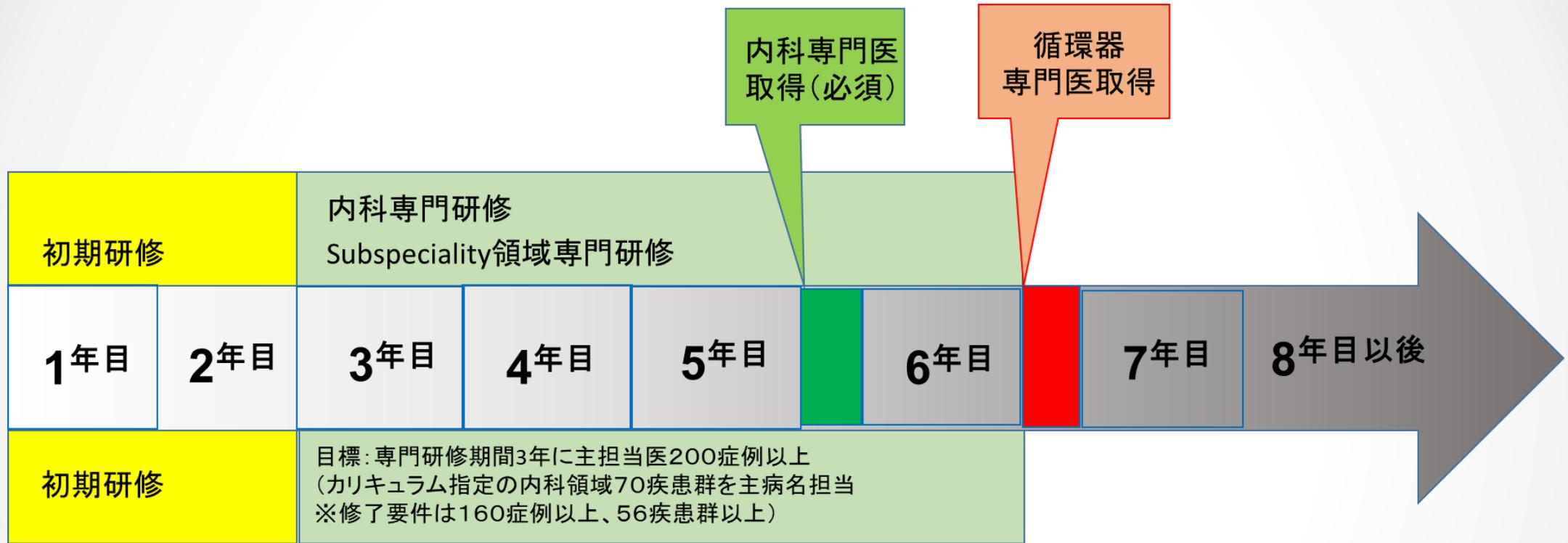
カーボンナノマテリアル, PM2.5の血管への影響



HFrEF, HFpEFの新規治療法開発を目指した病態解明



研修～専門医取得までのキャリアパス

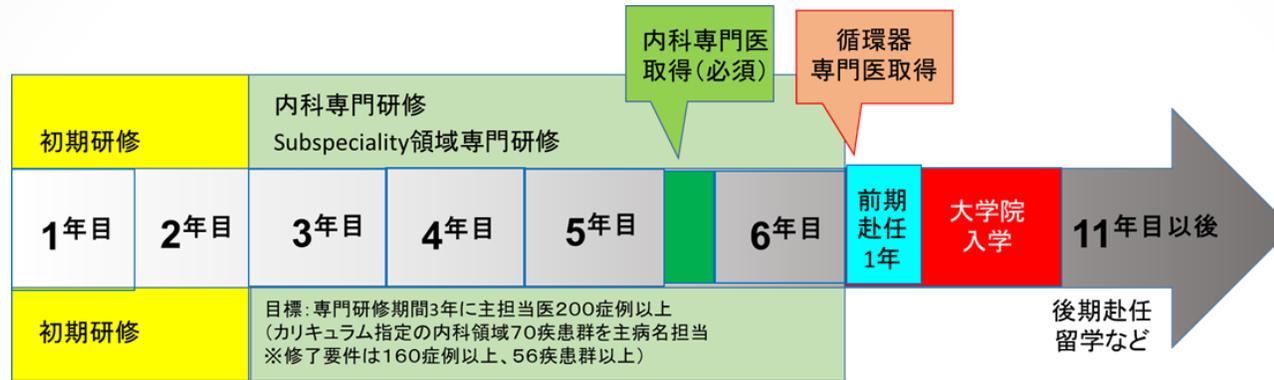


2.修了要件

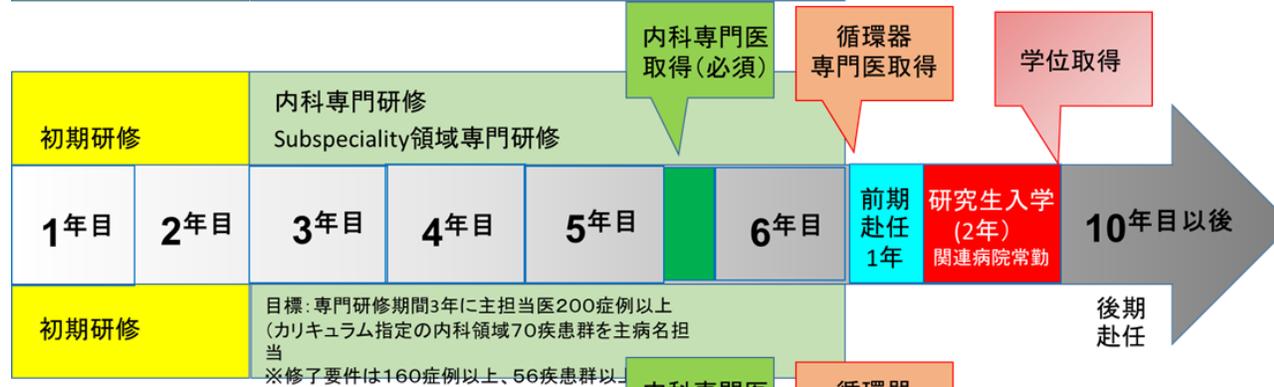
- 主担当医として160症例以上、内科領域56疾患群以上を主病名で担当することが求められます。専門研修3年目(混合型では4年目)に29の病歴要約の提出と受理が必要とされます。
- 所定の2編の学会発表または論文発表
- JMECCの受講
- 各研修プログラムで定める講習会の受講
- 指導医とメディカルスタッフによる360度評価に基づき医師としての適性に疑問がないこと

専門医取得と以後のキャリアパス

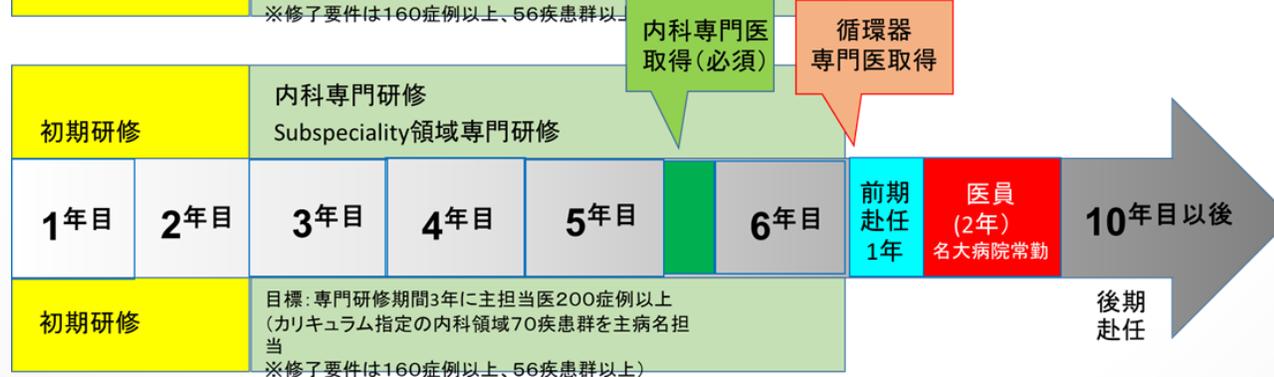
大学院生 (学生)



研究生



医員 (常勤医師)



- ・ 大学病院
- ・ 市中病院
- ・ 開業医
- ・ 産業医

ほか

幅広い分野で積極的な診療を。
基本的な医療から、先進医療まで

一般の方へ

医療関係の方へ



Outpatient
外来のご案内



Greeting
教授ご挨拶



Staff
スタッフ紹介



話題を検索

設定

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学
145 件のツイート



フォロー

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学
@Cardio_Nagoya

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学のtwitterです。
医学の進歩のため医局員は日々、切磋琢磨しております。ぜひ応援お願い致します。
※個別のコメントへの返信等はいりません。ご理解頂きますようお願い申し上げます。



名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学

150 件の「いいね！」・フォロワー172人

いいね! 済み 検索

投稿 基本データ メンション レビュー フォロワー 写真 その他

自己紹介

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学のFBです。当講座の近況を発?

- 1 ページ・病院
- ◆ 愛知県名古屋市昭和区鶴舞65番
- med-nagoya-junnai.jp
- ★ まだ評価はありません(レビュー0件)

編集の提案

投稿

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学

11月14日 石原敬和先生(大学院)
メタボリック症候群の「世界と日本の診断の違い」や「心臓病や血管病との関係」について調べてくれました。メタボリック症候群は日本をはじめ世界各地で異なる診断基準が提唱されていますが、各診断基準の一致率は50%ほどしか一致しないとも言われ、今後の診断基準の統一化が議論されています。
また複数の研究をまとめた報告では、メタボリック症候群の患者さんは正常の人に比べて心血管疾患のリスクが約1.6倍上がると言われています。
そのメタボリック症候群ですが、実際に改善した時に心血管疾患のリスクが下がらどうかを調べた研究はあまりありません。韓国の観察研究で、メタボリック症候群のままだった患者群に比べ、改善した患者群の方が心血管疾患リスクが30%減ったという報告があります。今後、メタボリック症候群を改善し、心臓病の発症を抑制するような指導や治療の確立が期待されています。...もっと見る

名古屋大学循環器内科では、
ホームページ **Twitter** **Facebook**
などで、情報発信を行っています。

【医局連絡先】

052-744-2148

junnai@med.nagoya-u.ac.jp

● <http://www.med-nagoya-junnai.jp/>